

人のつながりが育む豊かな地域づくり

GIGAスクール構想の推進

4億4945万円
児童生徒の情報活用能力を育成し、多様な学びで豊かな創造性を育むため、ICTを活用した教育の充実を図ります。1人1台のタブレット端末を安定的に活用できるように運用管理を行うとともに、児童生徒の理解の向上や教員の負担軽減を図るため、指導者用のデジタル教科書を小・中学校に導入します。タブレット端末を活用した指導や学習モデルの普及を推進するため、GIGAスクール推進校を指定し、実践研究を行います。



小・中学校において、さまざまな教科でタブレット端末を活用した授業を行います

35人以下学級の実施

6億8042万円
小学校における35人以下学級編成を、小学1・2年生に加え、小学3年生までに拡充し、教員がこれまで以上に子どもたち一人一人としっかり向き合える体制を強化します。

不登校対策推進

1億2552万円
現在市立中学校5校に設置している、不登校生徒の学校内の居場所となる在籍学級外教室「ステーション」について、設置校を10校に拡充し、担当教員を増員します。また、不登校児童生徒へのICTを活用した学習支援や適応指導センターへのスクールカウンセラーの配置など、個々の児童生徒の状況に応じた環境づくりや支援の充実を図ります。

いじめ防止等対策推進

16億2917万円
いじめ等の課題に対応するため、コーディネーターとして指導の中

核を担う児童支援教諭や、児童生徒が悩みを気軽に相談できるさわか相談員の配置を拡充するなど、いじめの未然防止や早期発見に取り組みます。また「いじめ等相談支援室 S-KETT」を運営し、いじめに悩む児童生徒等への支援を行います。

すこやか子育てプラン推進

729億9360万円
安心して子どもを産み育てることができるよう、認可保育所等の保育基盤の整備等に取り組みます。都市公園等に一時的に遊具を設置して子どもの遊びの環境に関する実証実験を行います。子育てを地域社会全体で支える取り組みを進め、未来を担う子どもたちが健康やかに育つことができるよう各種施策を推進します。

児童虐待防止対策の充実

2954万円
学校の長期休業期間など見守りが困難な時期に、支援が必要な子どもたちの居宅を定期的に訪問し、食品の提供や学習・生活相談等の支



保育所等における一時預かりや延長・休日保育など多様な保育サービスの実施により、切れ目のない支援の充実を図ります

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

地域づくりパートナーシップ推進

5027万円
宮城地区西部でのICTやAI等の先端技術を活用した回覧板の電子化、鳥獣害対策の取り組みや、東部沿岸地域における新たな魅力発信など、地域により異なる課題にきめ細かく対応し、多様な主体が持つ力を課題解決やにぎわいづくりなどに生かす仕組みづくりを推進します。

地域づくりパートナーサポート

6億4087万円
町内会等の運営を支援し、活性化・持続性の強化を図ります。地域課題の現状分析・調査や複数団体が協働で行う取り組みに対し助成を行うとともに、地域団体等に専門的なノウハウやスキルを持った市民等が関わり、課題解決を後押しする仕組みづくりを進めます。

公共交通活性化等推進

6億7301万円
鉄道やバスなど、公共交通を中心とした利用しやすい交通体系の構築に取り組みます。地域の実情に応じた公共交通の在り方を位置付ける地域公共交通計画を策定するほか、地域交通の試験・実証

運行等に係る経費を助成します。

地域福祉の推進

6億1211万円
市民が相互に支え合う仕組みづくりや保健福祉サービスの利用促進のため、各種施策を推進します。民生委員活動をサポートする協力員制度を試行的に実施します。

高齢者保健福祉の推進

47億1222万円
高齢者の社会参加の促進や地域支え合い活動への支援、生活支援体制づくりなど、高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう各種施策に取り組みます。

介護予防・日常生活支援総合事業

33億6686万円
介護予防・生活支援サービス事業の充実や介護予防活動の担い手づくり・活動の場づくりなど、地域における介護予防を推進します。



住民主体の通いの場にリハビリテーション専門職を派遣するなど、地域の介護予防の取り組みを支援します

障害者保健福祉の推進

311億1833万円
障害者保健福祉計画に基づき、障害理解の促進や障害児支援の充実、就労と社会参加の促進、安心して暮らすことができる生活環境の整備など、各種施策を展開します。

地域生活支援体制の充実

63億6348万円
障害者の相談支援や重度障害者の地域生活支援を行います。中高年のひきこもり状態にある方に安心して対人交流ができる居場所を提供し各種支援プログラムを行うなど、社会参加の促進を図ります。また、地域自殺対策推進センターの運営やSNSを活用した若年者向けの相談窓口の開設など、自殺予防対策を推進します。

市民健康づくり推進

29億316万円
生活習慣病予防のための「歩こう動こう脱メタボプロジェクト」の展開や、糖尿病性腎症の重症化予防のための保健指導の手法や医療機関の連携体制の確立に向けたモデル事業の実施など、生涯にわたる市民が健康で安心して暮らすことができる環境整備を進めます。

援を行うなど、各種施策に取り組みます。

妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実

654億7916万円
不妊に悩む方の特定治療への費用の助成拡充や不育症検査への費用助成を行います。また、保育施設における多胎児の一時預かりの利用料の一部を助成するとともに、SNSを活用した子ども・子育て相談を実施します。ひとり親家庭等に家事等の支援を行う家庭生活支援員の派遣事業における派遣の要件を緩和するなど、妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図ります。

電子図書館サービス導入

1009万円
インターネットによる貸し出し・閲覧が可能となる電子図書館サービスを導入することにより、非来館型のサービスの充実に取り組みます。

その他の主要事業

● 確かな学力育成

3億8205万円
● 新学習指導要領を踏まえた教育の充実 3539万円

● 仙台自分づくり教育推進 6612万円

● 学校教育施設整備 110億5283万円

● ユースチャレンジ推進 711万円

● 地域安全対策 9270万円

● 消費者支援 3201万円

● 男女共同参画の総合的推進 6億9883万円

● 多文化共生推進 3952万円

● 人と猫との共生支援 446万円

● 自転車安全利用の促進 1億6174万円